

大野市小中学校再編計画（案）説明会開催結果概要

日 時 令和3年8月20日（金）午後7時30分～8時45分
場 所 小山小学校 体育館
出席者 小山小学校区児童・未就学児保護者 5名、小山小学校長、小山小学校教頭、
教育長、教育委員会事務局長、教育総務課長、学校教育審議監
教育総務課職員3名

顛 末

①教育長あいさつ

②大野市小中学校再編計画（案）の説明（資料に基づき説明）

③質疑応答

参加者 統合した際に登下校の負担軽減でスクールバスを運行するが、学年によって終わる時間帯が変わってくると思うので、何回かに分けて送るのか。また、児童が待機する場所を設けるのか確認したい。

市教委 スクールバスに関しては、特に下校便のことだと思うが、今も下校便を2便運行している。低学年用と高学年用に分け、低学年の終わる時間に1便、高学年の終わる時間に1便で運行している。

また、例えば学校行事などにより若干の時間変更がある場合などには、事前に運行時間を変更して対応している。

参加者 子どもが小山小学校2年生、3年生になって、途中から有終南小学校に再編される。2年後に有終南小学校に変わるのだと。それなら最初から有終南小学校に通うことはどうか。経費は当然掛かるが途中で学校が変わる、その児童の心の動揺を、最初から親が考えてそれでは1年生から南校に通うことも考えられる。それは可能なかどうか。

それからもう1点、この計画の中に学校統合後に5年を目途に再編の検討を行うと書いている。統合して5年後だと、1年生で入った子どもが6年生になって、また統合の話をすることになる。この計画で書かなければいけないのか。その1年生の子どもが、6年生になった時に統合になって、中学校になって、心を落ち着かせなければいけない時に、二転三転して、中学校2校が1校になる、小学校7校が5校になる。教育上それも一つの方法かもしれないが、この計画の中で書かないと都合が悪いのかどうか。やはり、あの時に黙っていたのではないかなとなるのか。この2点に答えてほしい。

市教委 2点目については、今5年後にまた再編をすると決めているわけではなく、5年後に何か動きをするということでもない。令和6年に中学校を、令和8年に小学校を統合するという計画案であり、令和8年から5年か6年経った頃に、次の統合は必要なのか、それとも必要ないのではないかなということ

少しずつ考えていかなければいけないことを言っている。5年後にまた再編する、本格的な再編の検討に入るという意味ではない。

計画案では、令和6年に中学校を、8年に小学校を一度統合するが、令和7年もそれから8年も9年も10年も、学校の児童生徒数はどうか、どのように動いているか、それから国の教育制度はどう変わっているか、また今年タブレットが1人1台ずつ入ったように教育環境的にはどうなっているかなど、毎年きちんと検証していく。今後学校再編が必要かどうかということも検討していきたい。そのように考えているのがこの表現になる。

実際にもし再編があるとしても、今から考えて10年も15年も20年も後の話ではないかと思っている。これだけ社会が急激に動く時代だから10年後にこうしよう、15年後にこうしようと、今から想像することはできないし、想像するのも非常に危険である。とにかく、今は目の前の統合しなければいけない小学校と中学校をまず統合させていただきたいと、統合してはどうかという、そういう提案になる。1年生になってまた5年生、6年生に再編があるという意味ではないので、それは安心いただきたい。常に皆さんと相談しながら進めていく。

それから1点目の、何年か後にもう統合することが決まっているのであれば、1年生の時からそうしたいとい話だが、今それが可能な規則はない。そして、教育委員会としても積極的に勧めるつもりはない。いくつか理由があって、あの子は行った。この子は行かない、あの家は、私の家はどうしようとなり、一層皆さんが不安になるのではないかと思っている。そのように個別に動かれることを後押しすることや、何か規則を考えることはしない。

それとA校からB校へ動くとする。A校にはきちんと伝統もあるし、皆がその学校で一生懸命に頑張ろうとしているので、もう決まっているのだから早く準備をするとか動くとか、その学校の教育が崩れるようなことはしないほうが良いと思っている。

3点目は、自分も50年前に小山中学校の2年生から、開成中学校の3年生になる時に、開成には3年生が300人以上いたが、私達は20人だった。そのような環境で行ったが、私達をととても温かく受け入れてくれたことを、今でも感謝している。大きい学校はそういう包容力がある。そして、私の背中を押してくれたのが、その時の大人の皆さんである。2年生、3年生の途中から学校が変わるかもしれないが、親とすると心配はしなければいけないが、心配し過ぎることはしない方が良いと思っている。そして、広いところで頑張れよと、そっと子どもの背中を押してあげてほしい。そういう形が、私は良いのではないかと思っている。

参加者 お話のように背中を押してあげることはとても良いことだと思う。私の集

落でも、私の孫を含めて小さい子どもが2人、3人、4人ぐらいになるが、地区の人達と一緒にラジオ体操をして、ああでもない、こうでもないと言って、年寄りの相手になっているのだが、子どもがいることによって周りの大人の意識も変わってくると思うので、背中を押すことも大事だと思っている。

それから、10年か20年前に大野市で将来の構想を立てた時に、5万人構想、5万人で大野市はこのような未来になるとの計画を出したが、5万人になる前にどんどん人口が減っていった。その夢みたいな構想は、今では合わないで現実に沿った指針や方向性で頑張ってもらいたい。大野市の過疎化は、どうにもできない現象かもしれないが、仕事があればどんどん人が増えるなどという夢を語っても、その夢を信じる人もいなくなっていると思うので、現実に関心を向けて周りの大人達が一生懸命になって大野市を考えないと、どんどん寂れていく一方だと思っている。

市教委

人口が5万人と言うと恐らく第四次総合計画で、山内市長の時かと思う。ファッションブルシティをうたった計画だと思う。

今回は第六次の総合計画である。策定時、最初に皆に集まっていただき、いろんな方々と公募の人も来ていただき、どのようなまちが良いのか話し合いをした。

その中でもおっしゃる通りのことで、夢みたいなことを言っても現実を見ないといけないということで、まず、人口が減少していく人口推計グラフを示して、それから考えていこうと、何回も何回も予定よりも回数を増やして議論をした。結局、何が良いかと言うと、持続可能なまちが良いだろうということで、大野市のまちの将来像を「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」と、「住み続けたい」と、そういう思いを入れた将来像にしている。

きっと、中部縦貫道が完成したり、新幹線ができたりして、確かにその効果は期待しなければいけないが、地に足を着けて、そして、市民は「行政が何をしてくれるのか」ではなく、「我々は何ができるのか」というところまで計画の中に入れていく。今回の計画は、夢物語の計画でもないし、皆と一緒に進めていこうという計画になっているので、また、計画を見ていただけるとありがたい。

参加者

昨日、お国自慢のテレビをご覧になった方はいるか。北海道の根室半島でホタテの町で、市町村の年間所得が全国5番目の町である。その町は20年前か30年前に、町のリーダーがこの町はホタテでいくと決めて、町の予算の半分以上をホタテにつぎ込んだ。それが今では、町にはホタテ御殿が並んで、そして北海道のホタテは違うとなっていて、そのホタテを食べに都会か

ら人が来るようになっている。これは極端な例だが、やっぱり大野市の目指す道も満遍なくではなくて、大野の良い所をどこか見つけてもらい、皆良い知恵を持っていると思うので、そういった将来を見据えて、教育の方でもそのように転換すると夢もあるのではないかと思う。

参加者 小山小学校が有終南小学校に合併する時に、慣れ親しんだ教職員が有終南小学校に行くと言っているがその選別は誰がするのか。

市教委 今、例えば小山小学校の教壇に立っている教職員は、1年生の担任、2年生の担任、3・4年生の担任、5・6年生の担任と4人いる。4人を全員異動するのは非常に難しい。子どもにとって最も信頼のある教職員など、少なくとも1名以上はそういった配置を考えたい。最終決定は県の教育委員会がするが、現場を分かっているのは、それぞれ市町の教育委員会である。大野市教育委員会で、子ども達が安心できるような状況を作っていきたいと考えている。

参加者 感想になるが、自分はここ小山小学校が出身校である。当時はあまり学校に行くのは好きではなく中学校も高校もあまり好きではなかった。別にいじめられたとか、そういうことではないが田舎で何もない所で、高校を出てから東京に行って、東京の学校に行って、その後もしばらく東京にいた。

しかし、それから大野市に戻って来て、後輩に奢ってもらったご飯が美味しく感動して、そのままここに帰って来てここにしようと思った。やはり、何もなくて、ここで今、2歳の子どもを育てているが、子どもが産まれてふと思った時に、この子どもで良かったなと思った。

小学校を思い返してみると、その当時は嫌だったが、楽しい思い出もいっぱいあるし、厳しいこともいっぱいあった。今も思い出は無いと思っていたが、このように話を聞かせてもらうと小山小学校が無くなってしまおうという実感で少し感傷的になってきている。校歌がちょうど目に留まったので、目で追っかけて何となく当時を思い出しながら見て、やはり涙がうるんだ。

そう思っても、この数字を見ると子どもの数がどんどん減っていく。その減っていく子ども達に、例えば親の世代、祖父の世代の良い思い出じゃないが、これから将来大きく羽ばたいていく子ども達に押し付けるのはどうだろうか。小山小学校で言えば、児童数は少ないけど、皆良い子で優しい賢い子どもだと思うので、その環境が変わるのが良いか悪いかは、今、私では判断できないが、でもそれを決めていくのは私ではなく子どもだと思う。教育長の話聞いて思ったが、今日ここに来て良かったなと、納得できたと思っている。全部が理解できたかどうかは怪しいので何とも言えないが、安心して子どもを育てていけるかなと思えたので、今日はありがたかった。

市教委 私は、福井市までは出たが、東京には住んだことがない。客観的に大野市

の良い所は、はっきり言って見えない部分がある。あなたがこのように大野に戻ってきてくれて、大野の良い所を小山の良い所を再発見してもらえたのは凄いことだと思うし、嬉しいと思う。大野にいと何も無いと思うけど、でも大野は宝箱みたいで良いことがいっぱいあって自然や歴史や人なども、そのような大野の強みをしっかり生かした学校教育をしていきたい。それは小さい学校には小さい学校なりに良い所があるし、大きい学校には大きい学校で良い所がある。これも光と影で、それぞれの良い所を十分に生かしていきたい。

先程の再編計画の説明でも、学校を何校にするということは後から出てくる。最初に何が出てくるかという、大野の教育は何を目指すかを出している。そして、学校を一人一人の子どもの居場所にしたいと思っている。認められたり、活躍する場所があったり、褒められたり、そういう教育をきちんとして子どもの居場所を作っていきたい。

それと何気なく使っているが、よく「同じ釜の飯を食う」と言う。一緒に遊んだり一緒に行事したり、泣いたり笑ったりしているうちに繋がりができる。それを「絆」と言う。そういうことを大人がきちんと意識しながら、子どもを見守って、楽しいと言っても辛いこともあるが、でも明日も学校に行こうと、そのように思ってもらえる学校にしたい。

参加者 自分は有終南小学校に通ったが、今、子どもが小山小学校に通っている。昔に比べて、今の有終南小学校の教育は分からないが、小山小学校の体制が凄く良いと思っている。私の子どもの頃に比べたら凄く良い。有終南小学校と合併した時に人数が増える。増えた時の教育体制だが、今、私の息子は少し勉強が遅れがちである。合併後の先生の体制はどうなっていくのか話し合われているのか。

市教委 今、小山小学校は人数が少ないため、個々の対応が充実していることは間違いない。そして人数が少ないため、子どもが発言する機会が多い。最初は恥ずかしいと思っている子どもも、段々に慣れてたくさん発言ができるようになってきている。これが有終南小学校に行くと、有終南小学校出身ということで良く分かっていると思うが、恐らくお父さんにとって今と昔の違いは、1学級の子どもの人数だと思う。前は40人学級だった。30何人という、1クラスの人数はそんな感じだったと思う。今は36人学級で、有終南小学校でも、1クラスの人数は20何人という学級がほとんどである。そうすると小山小学校に比べて、やはり人数が多い分、個別の対応は少し薄くなるかもしれないが今は1人1台のタブレットもあって、これを活用した個別の学習もこれからどんどん進むと思うので、十分に対応できている。

それだけではなくて、例えば、勉強がちょっと苦手という場合でも、皆で学習する楽しさがあると思う。これが例えば国語とか算数だけじゃなく、自分の得意な図工の時間に絵を書いて発表した時に、皆に褒められることもある。そういった楽しさもあると思う。自分の得意なことに自信を持つことで、苦手な教科とか、少し勉強が苦手だけど頑張ってみようとか、そして励ましてくれる友達もいる。それぞれの学校の利点があると思うが、その中の有終南小学校の利点の中で、やはり一番は皆で行うこと。例えば球技にしても、合唱しよう、合奏しようといった時でも、皆でやる楽しさというのはあると思っている。

それから、さまざまな友達がいるので逃げ場があると。本当に辛い時に逃げ場があると無いのでは違う。先ほど言ったように人数が少ないと皆が発表しないといけない。今日は少し気分が乗らないので黙って友達の話聞くのも一つの方法だと思う。それぞれの良さを生かすという点では、やはり有終南小学校では、今言われたような心配もあるが、そういった点に対してはきちんと個別の指導も行っているし、全体を見ながら、個々を見ていくというような学習も行っているの、その辺は安心していただけたらと思う。

また、市では結の故郷教育支援員を配置しており、例えば小山小学校では1人が配置されている。学習が少し苦手とか、落ち着きのない子に対して支援をしている。有終南小学校は人数が多いので3人の支援員を配置している。また、県の支援員も大きな学校では、数多く配置しているので個別の対応も十分できている。

参加者

私も有終南小学校出身で、小山の方にお嫁に来て、子どもが小山小学校で、今年から1年生で通うことになった。私の娘自体は、多人数の所に1人で行くのが少し苦手なタイプだが、小山小学校に通ってからは1学年で5人しかいないが、凄く生き生きとしている。畑の活動とか色々な活動にしても、そのお兄ちゃんお姉ちゃんに色々なことを聞いて学んできたり話してくれたりしている。保育園の時よりも凄く充実していることが感じられて、それを有終南小学校にも引き継いでもらえると私は嬉しい。

不安なことは先程の方も言われたが、この学校での授業では1人ずつ個々にやることを小山小学校は凄くしてくれる。私の子どもは、6年生の時に有終南小学校と合併なので、有終南小学校のやり方に慣れていけるのかが一つ心配である。

今、教育長や職員の方が言ったように、そういう活動も個々に結の故郷教育支援員などを配置している話を伺ったので、少し安心はしている。けれども、今年の有終南小学校は人数が多く1年生は60人ぐらいいると聞いた。

さまざまなお母さんから話を聞くと、女子はこの保育園出身の子が強いとか、男の子がこうだとかよく聞く。とりあえず、今から5年後に子どもが大きくなって、その時にやはりグループができていると思うので、そこに一気に小山小学校の子ども5人が入るのはどうなのかなと、同じ学年の他のお母さんと話していた。しかし、そういうところも対応してもらえることが分かったので、感想になるが凄く安心して、ちょっと子どもの背中を押してやれるかなとは思った。

市教委

5人で有終南小学校に入る。今、資料を見ると62人で、2クラスだから一クラス30人ぐらいになる。その時に6年生になって、そのままということは心配であるかと思う。やはり、有終南小学校もクラス替えをきちんとする。そして、自然に皆が分かれるという、そうした配慮が必要だと思っている。

私は50年前に、中学3年生で小山から開成に入った。開成は3年生が9クラスで、そこに私たちは20人で入った。彼らは私達のために、ちゃんとクラス替えをしてくれた。ありがたいと思っている。

それと、有終南小学校の説明会に行った時に、PTAの保護者が、小山小学校の子どもが有終南小学校に来てくれることによって、新しい有終南小学校を作りたいと言われた。

私は、新生有終南小学校とならなければならない、開成も新生開成中学校とならないと駄目だと言っている。小山小学校が吸収されるという感覚はない。あくまでも1対1の再編である。

保護者の方も、やはり新しい有終南小学校を作りたいし、そして、小山の子ども達を自分の子どもとして考えたら、これはもう丁寧に温かく迎えてあげたいと、そんなことを言ってくれた。我々も全力で頑張らせてもらう。

市教委

6年生で再編され心配だということで、やはり事前交流をきちんと行っていきたいと思っている。例えば、小山小学校のクラブ活動は二つある。実は4年生以上でクラブ活動があるが、4年生以上と言ってもどうしても人数が少ないので、小山小学校では二つのクラブ活動となる。それが有終南小学校になると、幾つもクラブ活動がある。こんなやり方をしているということも事前交流で体験してもらう。小山小学校では味わえない部分を事前交流で体験してもらって、6年生になった時に子ども達には心配がないような状況で再編をしたい。

また、再編時期に、事前交流についてもこんなことをして欲しいと、校長、教頭にも言っていただければ、両校の校長、教頭で協議しながら、お互いにスムーズに子どもが溶け込めるような形での再編を考えていきたいと思っている。

参加者 先程の事前交流の件だがクラブ活動に限定されていたが、授業で事前交流を行うことはできるのか。

市教委 今年度に乾側小学校と下庄小学校が再編された。昨年度、乾側小学校は急な再編だったが、1年間通して6回の事前交流を行っている。それも最初から1日中下庄小学校にいるということはやはり辛いので、最初は朝の会から2時間目までという形で事前交流を行っている。それから学校行事を一緒にしたり、最終的には給食を食べたりして事前交流をしてきた。当然、授業にも入るし、学校行事にも入ったり給食も一緒に食べたりしている。再編計画で案が取ればかなり先を見通せるので、1年前ではなく1年半前からということも考えられる。その辺は状況を見極めながら、お話したように両校の子ども達が安心して再編できる形を整えていきたい。

参加者 ありがたい。安心した。

市教委 また思いついたこと、皆で話をしたことなど色々あると思う。今回の説明会に、小山小学校の校長と教頭の2人も来てくれた。しっかりと皆さんの意見を聞いていきたいと思っている。どんなチャンネルでもよいので、教育委員会に言いづらかったら、近くの校長、教頭に伝えていただければ、しっかり我々も聞くので、いつでも何かあったらよろしく願いしたい。